

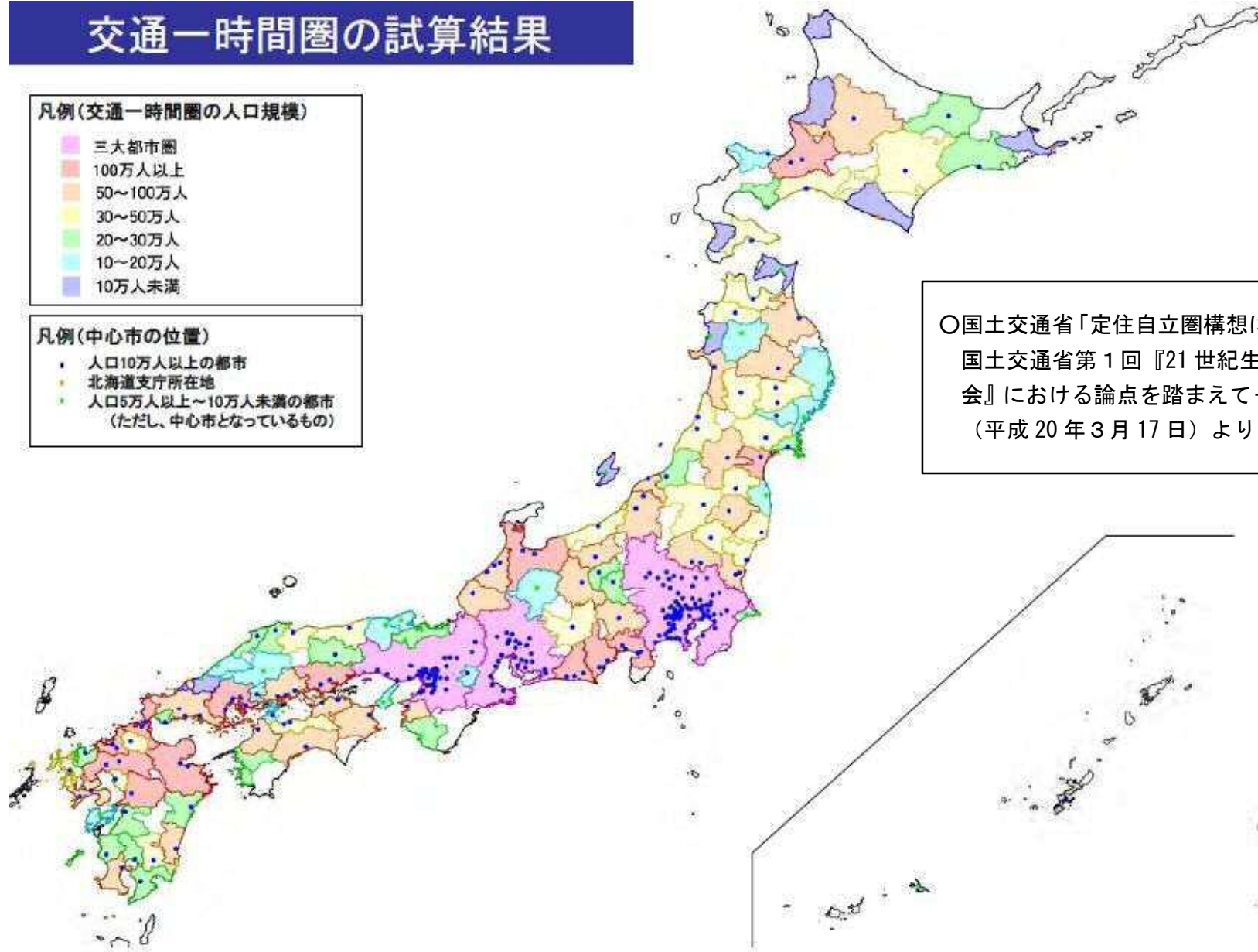
## 交通一時間圏の試算結果

### 凡例(交通一時間圏の人口規模)

- 三大都市圏
- 100万人以上
- 50~100万人
- 30~50万人
- 20~30万人
- 10~20万人
- 10万人未満

### 凡例(中心市の位置)

- 人口10万人以上の都市
- 北海道支庁所在地
- 人口5万人以上~10万人未満の都市  
(ただし、中心市となっているもの)



○国土交通省「定住自立圏構想について—  
国土交通省第1回『21世紀生活圏研究会』  
における論点を踏まえて—」資料6  
(平成20年3月17日)より

## 【試算内容】

1. 10万人以上の都市（東京23区は特別区）、10万人以上の都市が周辺にない5～10万人都市及び北海道支庁所在都市を中心市として設定（全国を中心市数：292）。

（人口は、市町村合併を考慮して、平成20年3月時点で平成17年国勢調査結果を整理）

2. 中心市から現況の道路又は鉄道ネットワークを利用した「交通一時間圏」を市町村単位で試算。

<試算条件>

- ・道路利用、鉄道利用の2パターンで、中心市の市役所等から各市町村の市役所等までの所要時間により「交通一時間圏」を試算。
- ・複数の中心市間の時間距離が30分以内の場合は連担するものとし、1つの「交通一時間圏」を設定。

3. 10万人以上の都市等を中心とする112の「交通一時間圏」を算出。

- ① 日本の全人口のうち、交通一時間圏がカバーする人口の割合・・・98.5%
- ② 日本の全国土面積のうち、交通一時間圏がカバーする面積の割合・・・85.3%